

[標準様式例1-1]

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年5月25日 午後2時から午後3時50分まで 山梨県防災新館 301会議室	
委員	委員長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員長代理：猪狩 学（弁護士） 委員：齋藤 雅代（山梨学院大学教授） 萩原 孝恵（山梨県立大学教授） 吉井 敏瑞（一級建築士）	
審議対象期間	令和8年1月1日～令和8年3月31日	
総契約件数	350件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6件 ・指名競争入札 1件
一般競争入札 (総合評価)	338件 (288件)	
通常指名競争入札	9件	
随意契約	3件	
指名停止状況	4件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1 [通常指名競争入札]

富東建設事-25-0416 (主) 河口湖精進線 道路工事 (明許)

〈工事概要〉

側溝工 自由勾配側溝 L=85m

予定価格 7,909,000円 (消費税含む)

〈質疑応答〉

Q) 自由勾配側溝にする工事は継続的にされているものか。

A) はい。

Q) 継続的な工事ということだが、落札された業者は以前の業者と変わっているか。

A) 変わっています。

Q) 指名業者を絞り混む際に、理由1 (富士・東部建設事務所吉田支所発注の側溝工事で過去3年受注実績のある業者) だけでなく、理由2 (理由1以外で、富士・東部建設事務所吉田支所発注の富士河口湖町内における側溝工事において過去3年指名実績があるCランク業者のうち、受注機会の拡大を図るため、指名回数の少ない業者) により受注機会を広げたにもかかわらず、理由2に該当する業者はなかなか落札されにくいことはあるか。

A) 今回落札した業者は、理由2に該当する (今まで施工の実績がなく指名した実績はある業者) ため、受注機会の拡大により落札された業者になります。

Q) 過去に指名したことのある業者は、今回の指名競争入札の5者に入っているか。

A) 今まで指名したうち、3者は過去に実績があるところで、2者は指名の実績があるところです。

Q) 自由勾配側溝にする工事は今後も工事がある予定か、今回で工事は終了か。

A) 現状、老朽化の状況に応じて同じような方法でやっていこうと思います。

Q) 側溝の開口区間自体は、もうない状況か。

A) 開口区間はまだまだあります。

Q) その側溝の開口区間が、トライアスロンの際に危険となる場合、新たな工事箇所となる可能性はあるか。

A) はい。老朽化しており、危険と判断される場合には、その可能性があります。

2 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

耕地課-25-0016 菅沼地区 菅沼ため池改修工事その2（一部債務）（余フ）（補特）

〈工事概要〉

堤体工

堤長L=158m 堤高H=10.7m 堤頂幅W=4.2m

取水工（斜樋）一式

予定価格 229,020,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 土木工事業 A

○企業の施工実績 : 請負金額1億円以上の河川・砂防工事又は農業農村整備工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格 : なし

〈質疑応答〉

Q) ため池の工事は、よくある工事か。

A) 山梨県には122カ所のため池があり、そのうち89カ所が防災重点農業用ため池に指定されています。農林水産省からは令和12年までにそれらの整備を終わらせるように言われており、現在整備をしているところです。

Q) 他のため池工事との兼ね合いもあり、手を上げる業者が少なく1者入札なのか。

A) 推測ですが、ため池工事の89カ所のうち79カ所が米どころの中北地域に集中しております。ため池工事が中北地域に多いため、技術者不足があるのかもしれませんが。

Q) この落札業者は、実績もあり問題なく工事を完成してくれそうか。

A) はい、実績もある業者のため、問題なく完成してくれると思います。

3 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]

峡南林環事-25-0146 奥山上流治山工事（明許）（余フ）（補特）

〈工事概要〉

山腹工A=0.10ha

簡易法枠工 A=1515.9m²

谷止工（コンクリート） 1基

L=19.0m、H=7.5m、V=237.5m³

予定価格 98,825,100円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 土木工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 2千9百万円以上の河川・砂防工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格：なし

〈質疑応答〉

Q) 令和2年から続いている工事だが、業者は前回と同じ業者か。

A) 結果的にですが、今回も前回に引き続き同じ業者になっています。これについては、現場状況を熟知していることなどが考えられます。

Q) 総合評価落札方式に関する評価調書について、企業の施工実績のうち、同種工事の施工実績0とは同等金額の工事という意味か。

A) そうです。今回、施工実績として評価する工事は、9,000万円以上の治山工事となりますが、この業者の過去の治山工事の最大の実績は約8,600万円であり、評価資料の提出が無い場合、同種工事の施工実績は0となっています。

Q) この落札業者は、実績もあり問題なく工事を完成してくれそうか。

A) はい、他の治山工事の実績も十分で、前回実績もあります。地元でも非常に評価の高い業者です。

4 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]
道路整備課-25-0047 国道411号 道路工事（一部債務）（余フ）

〈工事概要〉

道路改良工 L=47.4m、W=5.5(7.5)m
アーチカルバート工 L=20m、H=9.1m
補強土壁工 H=1.2~11.7m、A=470m²
仮設工 一式
予定価格 459,701,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : (代表構成員) 県内
(構成員) 県内
- 競争入札参加資格 : (代表構成員) 土木一式工事 A
(構成員) 土木一式工事 A
- 企業の施工実績 : (代表構成員) 高さ5m以上の補強土壁工の施工実績
ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- 配置予定技術者の資格：なし

〈質疑応答〉

- Q) 今回は珍しいアーチカルバート工だが、それ以外の構造も考えていたのか。
- A) 最初は普通の橋の形を計画していました。しかし橋を架ける場合、それを支える橋台が必要になります。今回の現場で橋台を作ると、河川が近く山を大きく切り込まなければならないため、下部工を小さくすることができるアーチカルバート工を選択しました。
- Q) 総合評価方式に関する評価調書の「配置予定技術者の能力」の中の、「同種工事の施工実績」が0点だが、企業の施工実績の「同種工事の施工実績」があるため、企業としては施工実績はあるということか。
- A) 企業の同種工事の施工実績は2者ともあり、2点+2点で4点ですが、今回の配置予定技術者には同種工事の施工実績がないため0点となっています。
- Q) この同種工事というのは、高さ5メートル以上の補強土壁工か、アーチカルバート工か。
- A) 本来はアーチカルバート工の施工実績を求めるべきですが、その場合、管内で3者、県内で6者しか該当しません。一般的に20~30の会社の入札参加資格を求めると考えると6者では業者数が少ないので、今回はアーチカルバート工とせず、高さ5メートル以上の補強土壁工の施工実績とし広く参加業者を求める形にしました。
- Q) 今回落札した業者は、アーチカルバート工も実績があるか。
- A) JVのうち、1者はアーチカルバート工の実績はありますが、もう1者はありません。

5 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]

治水課-25-0039 大門ダム非洪水期洪水吐ゲート設備外改良工事（一部債務）（補特）

〈工事概要〉

非洪水期常用洪水吐ゲート設備改良工 一式

洪水期常用洪水吐ゲート予備ゲート設備改良工 一式

予定価格 91,916,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 指定しない

○競争入札参加資格 : 山梨県における建設工事（鋼構造物工事業）の入札参加資格を有する者で、令和7年8月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の鋼構造物工事に係わる総合評定値が900点以上の者

○企業の施工実績 : 4千万円以上の鋼構造物工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格：なし

〈質疑応答〉

Q) 鋼構造物工事はかなり特殊な工事と思うが、応札可能業者の72者はほぼ県外の業者ということか。

A) 県内は2業者で、あとは県外業者です。

Q) 70者の県外の業者は、山梨県の入札参加資格があるか。

A) はい、いずれも入札参加資格を有しています。

Q) 落札業者は、県内の業者か。

A) はい、県内業者です。

Q) 同種の工事は、年に何回もある工事か。それとも珍しい工事か。

A) 県内にダムは6か所あり、それぞれメンテナンスの計画に基づいて工事を行っています。ゲート改良工事の実施頻度については、年1回程度又はそれ以下であり、比較的事例の少ない工事です。

Q) 県内に業者は2者しかないとのことだが、今回の落札業者が過去にも同様のゲート工事を多く受注しているか。

A) ダムのゲートの寿命が概ね30年と長く、事例が少ないため、傾向を判断できる状況にありません。ただ、過去に実施した他のダムでは、今回の落札業者以外の業者が落札した事例もあります。

6 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査）]
営繕課-25-0257 旧工業技術センター解体工事（明許）

〈工事概要〉

次の建築物の解体等

元機械金属試験棟 鉄筋コンクリート造2階建て延べ面積934.6㎡ 他20棟 撤去総面積5,256.6㎡

木工指導所(試験棟)の天井吹付材除去

付属する工作物、電気・機械設備

敷地内の土壌汚染対策 他

予定価格 431,090,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : (代表構成員) 県内
(構成員) 県内
- 競争入札参加資格 : (代表構成員) 解体工事業
(構成員) 解体工事業
- 企業の施工実績 : (代表構成員) 主要構造が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で、撤去総面積が2,000㎡以上の建築物の解体工事
ただし、元請として請負い平成22年4月1日以降から入札参加申請締切日までに完成している工事（なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- 配置予定技術者の資格：なし

〈質疑応答〉

- Q) 県の未利用地ということだが、今後何か利用が決まっているから解体したのか。
- A) 事業課からの依頼で、現在、解体工事を行っております。今後については、解体後に事業課で未利用地の活用について検討することとしております。
- Q) この施設は、いつまで利用していたか。
- A) 令和6年まで、一部を利用していました。
- Q) 入札について、応札に参加した業者が、他の参加者がわかるもしくは推察できることはあるか。
- A) 入札に関することは全て電子で行っているため、他の参加者のことはわからないようになっています。
- Q) この工事は落札率が低いですが、なぜか。
- A) 落札業者は、甲府市内での受注を強く希望したこと、自前の中間処理施設や運搬機械を所有していることなどから、今回の入札金額となり、落札率が低かったことを確認しております。この入札金額は低入札調査基準価格を下回ったため、低入札価格調査実施要領に基づき落札業者に対してヒアリングを行い、契約の内容に適した工事が確実に履行されることについても確認しております。
- Q) 汚染土の除去はナイーブな問題があると思うが、汚染土やアスベストが適正に処理されているか調査は行うか。
- A) 汚染土の処理を含め工事の進捗状況について定期的に確認を行い、最終的に書類を提出でいただいて、確実に処理が行われているか確認することとしております。
- Q) この解体工事は、汚染土の処理を含めているから価格が高いのか。

A) 通常の解体工事だけでなく、汚染土やアスベストの処理、杭の撤去を含めての工事となりますので高額になっています。

7 [一般競争入札(総合評価落札方式) (事後審査)]

新エネ推課-25-0011 米倉山水電解フルスタック評価設備整備工事

〈工事概要〉

高圧電力(6.6kV)工事 1式

接地工事(A・B・C・D+測定用P・C) 1式

低圧電力(400V)工事 1式

整流器(直流電力)工事 1式

その他 1式

予定価格 72,270,000円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 電気工事業 A

○企業の施工実績 : 3千万円以上の電気工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格 : なし

〈質疑応答〉

Q) ここはどういう施設で、今回はどのような工事か。

A) 米倉山には水素を製造する装置があり、水電解フルスタック設備とは水から水素を作る装置です。

今回は、水素を共同で開発している(株)東レが新しい水電解装置を設置するにあたり、管理者の山梨県がその電源設備を整備するための工事になります。

Q) 今回落札した業者は、これまでも米倉山施設の事業に関わっていたか。

A) この事業はチャレンジングな他に例がない事業のため、なかなか手を挙げてくれる業者がいません。

この業者は、2016年の事業開始から、ずっと関わっていただいている業者です。

Q) 水素製造に関する工事になるため、一般的な電気工事業に携わっている業者では工事が難しいか。

A) 電気工事のためどの業者でもできますが、水素製造装置への接続というところが特殊なので、業者は二の足を踏んでいるのではないかと推測されます。いろいろな業者に声をかけることは継続しています。

以上